

別府大学短期大学部アドミッション・ポリシー

別府大学短期大学部は「真理はわれらを自由にする」を建学の精神に掲げています。人が生きて行くには、大学で知識を身につけるとともに、思考し、探求し、確かめ、見極めるという真理探究の精神や、方法論を身につけることが大切です。本学では、このような基本的な態度を育成する教育を行っています。その一方で社会生活を営むための実践的な知識、技能を身につける教育を行っています。在学中、種々の資格・免許を取得していただきたいと考えています。また、市民として、共同体で生きていくための社会的スキル（マナーや対人関係能力）も身につけていただきたいと考えています。

このような教育を享受するためには、高校における基礎学力が大切です。また自分の人生を生き抜く意欲や、将来の職業を得ようという態度も持っていただきたいと考えています。

上記の考えに基づき、各学科・専攻科では次のような学生を期待しています。

食物栄養科アドミッション・ポリシー

別府大学短期大学部は、より高き教養、社会人としての生活により良く、より多く寄与することのできる人材の育成を目的としています。そのために、食物栄養科は「地域社会で活躍できる栄養士」・「調理のできる栄養士」の養成をめざし、以下の学生を求めます。

1. 食物栄養科が求める学生像

- (1) 食物と栄養・健康における専門職をめざす意思を持ち、専門職として必要な知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得するための努力ができる学生
- (2) 将来、食物と栄養・健康における専門職として、人々の健康維持・増進に貢献したいという意欲にあふれている学生
- (3) 高等学校等において、「国語」「外国語」「家庭」「数学」「情報」などの履修を通して、筋道を立てて文章を書く力や感性豊かな表現活動を展開する基礎となる力、論理的な思考力を身につけた学生

2. 入学者に求める知識・能力等

入学後の学修に必要な基礎学力として次のような知識・能力等を求めます。

(1) 知識及び技能

「国語」「外国語」「家庭」「数学」「情報」などの教科について幅広く履修し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

物事を多面的かつ理論的に考察することができ、その結果を自分の考えとしての確に表現し、伝えることができる。

(3) 主体的に協働する態度

食物と栄養・健康に関する様々な問題に関心を持ち、その解決に向けて主体的に他

者と協働する態度を有している。

3. 入学者に求める知識・能力等の評価方法

(1) 学校推薦型選抜（指定校推薦、推薦1期、推薦2期、スポーツ・文化推薦）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を推薦書、調査書、自己調査書、小論文、口頭試問、面接、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコアで評価します。

(2) 一般選抜（A日程、B日程、C日程）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を筆記試験（「国語」「外国語」「小論文」）、調査書、自己調査書、面接、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコアで評価します。

(3) 一般選抜（共通テスト利用1期・2期・3期）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を大学入学共通テスト、調査書、自己調査書、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコアで評価します。

(4) 総合型選抜

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を自己申告書（エントリーシート）、課題、調査書、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコア、口頭試問（面接の内容も含む）で評価します。

(5) その他の一般選抜（社会人、帰国子女、編入学、外国にルーツを持つ者を対象とした選抜）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を小論文、成績証明書等、面接で評価します。

初等教育科アドミッション・ポリシー

別府大学短期大学部は、より高き教養、社会人としての生活により良く、より多く寄与することのできる人材の育成を目的としています。そのために、初等教育科は教育者・保育者として、明るく健康で、行動力、指導力に富む学生の養成をめざし、以下の学生を求めます。

1. 初等教育科が求める学生像

(1) 教育・保育における専門職をめざす意思を持ち、専門職として必要な知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得するための努力ができる学生

(2) 将来、教育・保育における専門職として、他者と協働して子どもたちの健やかな成長と幸福に貢献したいという意欲にあふれている学生

(3) 高等学校等において、「国語」「外国語」「数学」「情報」などの履修を通して、筋道を立てて文章を書く力や感性豊かな表現活動を展開する基礎となる力、論理的な思考力を身につけた学生

2. 入学者に求める知識・能力等

入学後の学修に必要な基礎学力として次のような知識・能力等を求めます。

(1) 知識及び技能

「国語」「外国語」「数学」「情報」などの教科について幅広く履修し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(2) 思考力・判断力・表現力

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、その結果を自分の考えとしての確に表現し、伝えることができる。

(3) 主体的に協働する態度

教育・保育に関する様々な問題に関心を持ち、その解決に向けて主体的に他者と協働する態度を有している。

3. 入学者に求める知識・能力等の評価方法

(1) 学校推薦型選抜（指定校推薦、推薦1期、推薦2期、スポーツ・文化推薦）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を推薦書、調査書、自己調査書、小論文、口頭試問、面接、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコアで評価します。

(2) 一般選抜（A日程、B日程、C日程）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を筆記試験（「国語」「外国語」「小論文」）、調査書、自己調査書、面接、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコアで評価します。

(3) 一般選抜（共通テスト利用1期・2期・3期）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を大学入学共通テスト、調査書、自己調査書、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコアで評価します。

(4) 総合型選抜

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を自己申告書（エントリーシート）、課題、調査書、受験をしていれば英語資格・検定、数学資格・検定、情報資格・検定のスコア、口頭試問（面接の内容も含む）で評価します。

(5) その他の一般選抜（社会人、帰国子女、編入学、外国にルーツを持つ者を対象とした選抜）

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に協働する態度」を小論文、成績証明書等、面接で評価します。

専攻科初等教育専攻アドミッション・ポリシー

専攻科初等教育専攻は、より高き教育、社会人としての生活により良く、より多く寄与することのできる人材の育成を目的としています。専攻科初等教育専攻では、確かな指導力と教育現場の諸問題を実践的に解決する資質を備えた教員の養成をめざし、以下の学生を求めます。

1. 専攻科初等教育専攻が求める学生像

- (1) 教職をめざす明確な意思を持ち、高い専門性と実践力のある教員となるために必要となる基礎学力と学習意欲を有している学生
- (2) 学校教育現場の現状や課題に対して強い関心を持ち、他者と協働して主体的に課題を解決しようとする意思と実行力を有している学生
- (3) 大学はまたは短期大学での初等教育または教職課程の履修をとおして、教育実践や教育課題を理論的に分析・説明できる論理的な思考力を修得している学生

2. 入学者に求める資質・能力等

入学後の学修に必要な資質・能力として「教養」「専門力」「汎用力」等を次のように求めます。

- (1) 短期大学の初等教育に関する学科専攻の卒業相当の教育学の知識を有している。もしくは、短期大学または大学で教職課程を履修し、幅広い教養と教職に対する基礎的な知識及び技能を有している。
- (2) 教育に関する現代的課題を多面的かつ理論的に考察することができ、その結果を自分の考えとして論理的に表現することができる。
- (3) 学校教育に関する様々な問題に関心を持ち、その解決に向けて主体的に他者と協働する実行力を有している。

3. 入学者に求める資質・能力等の評価方法

「教養」「専門力」を教育に関する基礎知識問題・論述問題の筆記試験及び出身校または在学校の成績・修得単位数によるGPA（GPA表記が無い場合は本学の基準でGPAに換算）で評価し、「専門力」「汎用力」を面接で評価します。